

マルバノキ

Disanthus cercidifolius Maxim.

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：該当なし

被子植物門 双子葉類 離弁花群

マンサク科

選定理由

岡山県の自生地は北部の1カ所のみ。個体数は比較的豊富であるが、個体群の拡散が見られず、産地局限である。茶花・園芸用採取による影響や、生育地が植林されていることによる将来的な人為的影響も懸念される。

存続を脅かす要因

業者・マニア採取、林相変化、その他（森林利用）

分布状況

中部地方以西の本州と四国に分布。中国地方では広島・岡山両県内に産地局限。広島県の生育地はアカマツ林が卓越する吉備高原面の谷川沿い。県内の自生地は北部の山地に1カ所で、中部での生育情報は植栽の可能性あり。栽培もされている。

生育情報

通常低木で、まれに亜高木程度になる夏緑広葉樹。落葉前の10～11月頃、紅葉しながら花が咲くため、大変風流である。花は暗紅紫色。葉はハナズオウに似て円心形で全縁。

特記事項

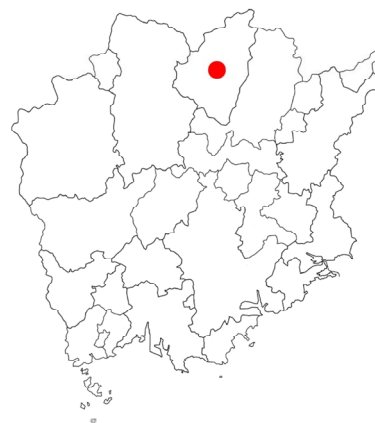
岡山県希少野生動植物保護条例（平成15年制定）の対象となる指定希少野生動植物（平成16年7月16日指定）である。

文献番号 126

（難波靖司）



撮影：難波靖司



ホソバノキリンソウ

Phedimus aizoon (L.)t Hart ver. *aizoon*

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

環境省：該当なし

被子植物門 双子葉類 離弁花群

ベンケイソウ科

選定理由

岡山県内では、吉備高原の標高500mの位置の山地に希に自生する。道路の開発や工事により産地が消失するなど、個体群の存続が懸念される。

存続を脅かす要因

道路工事、業者・マニア採取

分布状況

県内：中部の石灰岩地、北部の玄武岩地に分布。
県外：北海道、本州（中部以北）、サハリン、朝鮮。

生育情報

1753年に記載された多年草。株になって数本の茎が伸びる。高さは30～50cm。葉は倒皮針形で、先端部分に鋸歯がある。花は黄色で、花期は7月。

文献番号 97, 98, 119

（高田眞一）



撮影：高田眞一

